

特 記 仕 様 書

業務番号 上農水(整委)第3号

事業名 防災ダム管理事業

業務名 ダム管第82号委託

業務場所 上北郡七戸町字北天間館 地内外

履行期間 契約締結日の翌日 ~ 令和9年3月15日

測量業務特記仕様書

第1章 総 則

（適用範囲）

第1 - 1条 本業務は、「測量業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、この特記仕様書によるものとする。

（目的）

第1 - 2条 この業務は、天間ダム、作田ダム、和田ダムそれぞれの池敷を測量し、堆砂量を求めるものである。

（業務場所）

第1 - 3条 業務場所は、上北郡七戸町字北天間館地内外で、別添位置図に示すとおりである。

（業務概要）

第1 - 4条 業務の概要は、「別表1」に示すとおりである。

第2章 測量業務

（基本条件）

第2 - 1条 測量成果は、本委託業務全体の精度等を左右する基礎であることを十分認識のうえ、線形及びプラス杭（断面変化点には必ず設置する。）は、管理技術者が現地で選定するものとする。

（測量業務内容）

第2 - 2条 測量業務の内容は、別添「積算数量表」及び「別表2」のとおりである。

（障害物の伐採）

第2 - 3条 調査職員の指示を受けないで伐採したもの又は不注意により伐採したものの補償は、受注者の責任において処理する。

（堆砂測量業務の留意点）

第2 - 4条 堆砂測量業務の実施に当たり特に留意する点は、次のとおりである。

- 1 堆砂測量の測点間隔及び横断の測量幅は、「別表2」のとおりである。
- 2 堆砂測量は、測点間隔以内では、適宜省略できるものとする。
- 3 堆砂測量の測点の優先順序は、プラス杭・役杭・No杭の順とする。
- 4 トラバー杭及び仮BM杭は、土工作業により無くならない位置に設置する。
- 5 杭の規格は、青森県農業農村整備事業測量作業規程に準じる。
- 6 測量の時期については、調査職員と協議するものとする。

第3章 参考図書・貸与品・打合せ・成果物

（参考図書）

第3 - 1条 作業の参考にする図書は、次によるものとする。

名 称	編集・著書・発行所等	制定（改訂）年月
青森県公共測量作業規程	国土地理院「作業規程の準則」準用 (同院のホームページ参照)	国土地理院 平成20年6月9日承認

（貸与品等）

第3 - 2条 貸与品は、「別表3」に示すとおりである。貸与後は必要部分をコピーする等し、速やかに返却すること。

（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第3 - 3条 前2条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料等の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項で、相互に矛盾がある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議する。
- 2 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い、設計作業中に改訂された場合には、調査職員と協議する。

（打合せ）

第3 - 4条 打合せ時期及び回数等は、「別表4」に示すとおりであり、打合せ記録をその都度取り交わすものとする。

（成果物）

第3 - 5条 提出すべき成果物は、「別表5」に示すとおりである。

（成果物の装丁等）

第3 - 6条 成果物の装丁等は、下記によるものとする。

- 1 業務報告書はできるだけ分冊を避けること。ただし、用地調査等の業務がある場合は分冊を基本とする。
- 2 装丁等の詳細は、「青森県農業農村整備事業設計業務マニュアル」の第1節 設計業務報告書によるものとし、必要に応じて工種・路線名を明記すること。
- 3 受注者は、「青森県電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成した電子データにより、成果品を提出するものとする。なお、ガイドラインで特に記載が無い項目については、調査職員と協議のうえ決定するものとする。
- 4 提出先は、青森県上北農林水産事務所（十和田市西二番町10 - 21）とする。

第4章 その他

（電子納品業務）

第4 - 1条 本業務は、電子納品業務であり、下記によるものとする。

- 1 電子納品対象は、報告書、数量計算書等、図面、現場写真とし、作成要領は国土交通省が定める「工事完成図書の電子納品要領（案）」、「デジタル写真管理情報基準（案）」、「CAD製図基準（案）」によるほか、「青森県電子納品運用ガイドライン」による。
- 2 成果品の電子媒体は、正・副それぞれに同様のものを添付すること。
- 3 国土交通省が定める電子納品に関する要領・基準は、国土交通省国土技術政策総合研究所のホームページ【<http://www.nilim-ed.jp>】よりダウンロードできる。
- 4 「青森県電子納品運用ガイドライン」は整備企画課ホームページ【<http://www.pref.aomori.lg.jp/skikaku/index.html>】の「CALS/EC」のページよりダウンロードできる。

（積算内訳書）

第4 - 2条 積算内訳書は、別添「積算数量表」に基づき作成すること。なお積算に当たっては「積算参考資料」を参照のこと。

別表 1 業務概要

項 目	内 容
測 量 業 務	堆砂測量 一式（天間ダム、作田ダム、和田ダム）

別表 2 測量業務内容

作 業 項 目	数 量	作 業 条 件
ダム堆砂測量業務		
天間ダム		N0.0 ~ N0.1960
現地踏査 （測量作業前の現地調査）	1,960 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
縦断測量 （既設測量杭及び地盤高の測定）	1,960 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
横断測量 （EL135.0m以下の部分を測定）	1,960 m	丘陵地、原野、測点間隔 200m 測量幅 450m、1,000 台未満、曲線数 0
作田ダム		N0.0 ~ N0.7
現地踏査 （測量作業前の現地調査）	350 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
縦断測量 （既設測量杭及び地盤高の測定）	350 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
横断測量 （EL181.1m以下の部分を測定）	350 m	丘陵地、原野、測点間隔 100m 測量幅 250m、1,000 台未満、曲線数 0
和田ダム		N0.1+25 ~ N0.11
現地踏査 （測量作業前の現地調査）	475 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
縦断測量 （既設測量杭及び地盤高の測定）	475 m	丘陵地、原野、1,000 台未満
横断測量 （EL121.5m以下の部分を測定）	475 m	丘陵地、原野、測点間隔 100m 測量幅 200m、1,000 台未満、曲線数 0

別表3 貸与品

貸与資料名	部数	備考
過年度のダム堆砂測量報告書	1部	ダム管第79号委託報告書ほか

別表4 打合せ

業務	作業段階	回数	内容
測 量	業務着手前	1回	業務の基本的事項及び業務計画、測量方針の概略について
	中間打合せ	1回	測量結果等について
	報告書原稿作成段階	1回	測量成果の取りまとめ方について

別表5 成果物

成果品名	内 容	規 格	部数
業務報告書	堆砂測量	A4判	2部
図 面	縦断図・横断図・横断図(重ね図) 他	A1判(A4折り込み) A3判	2部 2部
電子媒体	業務報告書及び図面データ	CD-R 又は DVD-R	正副各 1部
<p>装丁はチューブファイル等とする。</p> <p>図面のデータは、P21形式・PDFの両方を収録すること。(マイラー原図は不要である)</p> <p>業務報告書は、可能な限りMicrosoft Word・Excel形式で作成し、この分のデータはオリジナルデータ・PDFの両方を収録すること。</p> <p>天間ダムに関する成果は、毎年1月に国土交通省東北地方整備局へ取水量とともに報告する必要があることから、この部分を別途12月18日までに提出すること。</p>			